



海外感染症情報

検査管理課

☎フリーダイヤル 0120-14-8734

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2013年02月14日	新種のコロナウイルス感染症について（更新1）
アフリカ	2013年02月13日	ニジェールでポリオの患者が発生しました
—	2013年02月12日	新種のコロナウイルス感染症について
アフリカ	2013年02月12日	エジプトで、環境中の検体からポリオウイルスが検出されました
南アジア	2013年02月06日	バングラデシュでニパウイルス感染症が発生しています
東南アジア	2013年02月04日	カンボジアで鳥インフルエンザの患者が発生しました
—	2013年01月31日	中国における新たなブニヤウイルスの人への感染に関するリスクアセスメント（抜粋）★

情報源：厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp/index.html>) 新着情報、最新ニュース

★【2013年1月31日更新 中国における新たなブニヤウイルスの人への感染に関するリスクアセスメント（抜粋）】

中国では近年新しいブニヤウイルスによる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の感染例が報告されており、人への感染に関して公衆衛生上のリスクを評価するための研究が行われました。

重症熱性血小板減少症候群はダニが媒介する出血熱であり、2009年の晩春から初夏にかけて中国中央部の農村で初めて報告されました。同年6月に患者の血液検体から新しいブニヤウイルス科フレボウイルス属のウイルスが分離され、後にSFTSウイルスと命名されました。フタトゲチマダニ等のマダニがウイルスを媒介することが明らかにされました。

中国保健省が公表した予防と治療のガイドラインによりますと、SFTSウイルス感染の潜伏期間は1週間から2週間です。症状は非特異的で、発熱（38℃以上）、食欲不振、倦怠感、胃腸症状（腹痛、悪心、嘔吐、下痢）、リンパ節腫脹がみられます。

検査所見では、患者の95%で血小板減少、患者の86%で白血球減少、患者の84%で蛋白尿、患者の59%で血尿がみられました。ほとんどの患者では、血清酵素（ALT、AST、CK、LDH）が上昇しており、多臓器障害が示唆されました。また、限られた公表データによれば、致死率は12%から30%でした。